

部長挨拶



早稲田大学
バドミントン部々長 山内明彦

本年も早慶戦の時期になり第38回戦を迎えることになった。昨年よりさらにレベルの高い試合が行われるものと思う。

さて、このところ“K”に関する仕事、すなわち、“きつい”、“きたない”および“きげん”な仕事が敬遠されている。スポーツにおいては、体育局に属する部の練習が非常に“きつい”というイメージが定着しているようである。したがって、サークルの方は極めて盛況であると聞いているが、体育局系の部は新人を集めるのが大変である。特殊なスポーツの部にいたっては存続すら危ぶまれている。

私自身の日から見て、体育局系の部員は心身ともに健全であり、規律も正しく忍耐力もある。また、時間を有効に使っており、協調性も十分あるので、立派な社会人になることは間違いない。

運動部である以上対外試合において少しでも好成績をおさめなくてはならない。このためには出来る限り多くの優れた部員がおり、互いに切磋琢磨することが望ましい。急には困難であろうが、年毎に部員数を増大するよう努力する必要がある。両校とも十分な部員数でないが、早慶戦において最後まで善戦するよう期待します。

会長挨拶



稲門バドミントンクラブ会長 菊地利明

平成2年9月9日 38回の早慶バドミントン定期戦が、今年も秋のシーズンのトップをきって開催される。

本年は5月から6月にかけて、ユバーカップ・トマスカップの大会が日本で行われ、久しぶりに世界一流のプレーを堪能した。

しかしながら、この大会では、日本は成績がいま一つで、女子のベスト4が唯一の救いだった。

この様に最近、色々の国際大会での日本の活躍はどれも影が薄く、我々としては、今一步の精進を望みたいものである。

そのような状況下、伝統の重みを増してきたこの定期戦では、全体的にやや力不足の両校ではあるが、近い将来にはこの中からバドミントン界を背負って立つ選手が必ず出ると言う信念をもって力一杯の好試合を展開してもらいたいものだ。

最後に、両校OBの活躍を期待し、日頃のご尽力に心より感謝致しますと共に、今後ともご指導の程をお願いしてご挨拶と致します。

部長挨拶

慶應義塾体育会
バドミントン部々長

宮利行



また早慶定期戦の季節がやってきました。大学男子戦については、昨年度は久しぶりに、本当に久しぶりに我が方に勝利の女神がほほ笑んでくれました。さて今年はどうなりますか。早稲田も去年の汚名挽回を図って、練習を積んでこられたことは疑いありません。迎え撃つ慶応も、昨年の勝利がフロックだったと言われてはなりません。というわけで、今年は激戦が予想されます。故障者を出すことなく、正々堂々とした戦いぶりが期待されます。

今年にはバドミントンの世界選手権が日本で行われました。一昔前は日本選手団を代表して早慶の卒業生がプレーをした時代もありました。ぜひ近い将来同じような姿を見たいものです。スポーツをとりまく世界の趨勢が変化してきたことも事実ですが、今春の六大学野球リーグでは早慶戦があれだけの人気を勝ち得たのです。バドミントンでも熱闘をくりかえすことによって、より多くのファンをひきつけてくれることを期待しております。

最後にこの定期戦の開催にご協力いただいた両校のOBはじめ関係各位に心より御礼申し上げます。

会長挨拶



小宮淳宏

三田バドミントンクラブ会長

トマスカップとユーパーカップの試合が日本で開催されたので、その決勝戦を6月2日と3日に観戦致しました。

残念乍ら日本チームは早々と敗退して居たので、見る事が出来たのは、インドネシア、マレーシア、中国でありましたが、競技内容は低下しており、プレー内容はもの足りなく思いました。

日本の競技人数は大変に増加して居り、国状も安定しているのにトップの力がそれにそぐわないのは何か欠陥があるのではないかと思いいました。

早慶定期戦の時期となりました。両校の競技のレベルは高いとは申せませんが、まじめに練習をしているので、健康で好ましい若者達の姿を拜見するのは誠に楽しみです。

GREETING FROM KEIO

監 督 挨 拶

早 稲 田 大 学 (昭和43年教育卒)
バドミントン部監督 関 一 誠



毎年、早慶戦は、実力を超越した試合が随所に見られる。

選手も、観衆も、手に汗を滲ませ、心臓がドッキン、ドッキンと高鳴る。見ていてこれほど魅了される大会はない。この体験は選手にとってたいへん貴重なものである。この緊迫感を持続しながら秋季シーズンに臨みたい。

さて、本年も早慶戦にかかる意気込みはなみなみならぬものがあるが、部員不足は、遺憾ともしがたく、11人の総力戦となることは、諫めない。凌ぎを削る程のレギュラー争いをして欲しいものであるが、甘えることなく頑張る所存である。

昨年の早慶戦は、敗戦を喫し、沈痛な思いをし、大変悔しい思いもした。

10連勝を果たし、油断が無かったとは、言い難い、敗戦の原因は多々有るが本年とて状況は同様である。明日なろう、明日なろうとして、ついに、栓になれなかった話があるが、それでは立つ瀬が無い、今日の早慶戦はなにがなんでも勝利する構えである。

慶応の諸君と共に最善の試合が展開されることを望む。

祝 早慶バドミントン定期戦

CM・ビデオ・イベントの企画制作
各種テープの編集・プリント

CREATIVE
STUDIO
&
VIDEO



BEST MEDIA

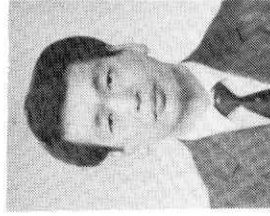
取締役顧問 橋本太郎 (早大43年卒)

東京都中央区築地2-11-12日徳ビル

電話 (03) 545-1681

監督挨拶

慶応義塾体育会
バドミントン部監督 (昭和52年政卒) 清水政明



早慶両校のOB、OGの方々、そして早稲田の現役諸君、こんにちは。

今年も、この日がやってきました。

「今年こそ、打倒！ 早稲田」と毎年のように言い続けてきましたが、昨年はいかに雪辱を果たし、美酒に酔うことができました。

高宮部長が、先日「僕は、まだ早慶戦に無敗だよ」と言っておられました。僕としても、平成の時代は慶應の時代にしていきたいと思えます。

昨年も言ったように思いますが、最後の最後まであきらめない粘りが慶應ボーイの真骨頂だと思います。

春季リーグ戦では、不意ながら男子はついに2部最下位になり、3部との入替戦を経験してしまいました。女子も4部優勝をしたといっても3部昇格にはあたりませんでした。

しかし、この早慶戦を足場に秋のシーズンに向かっていこうと思っております。

今年も粘りの慶應を皆様に見ていただきます。

早稲田の諸君 よろしく。

祝 早慶定期戦

内科・神経科・精神科

医療法人 社団 三恵会

西ヶ原病院

北区西ヶ原 2-46-9 電話 03 (917) 6561

いま、私は横浜に住んでいる。たまに近くの体育館の個人開放日に家族連れでバドミントンを楽しんでいる。私はそのつもりでいるが、子ども達にすれば、シゴカレているかと思っているかも知れない。可哀相に。羽を追いかけると、手抜きが許せないし、許されない。性分かな、困ったものだ。隣のコートでプレーをする若い人達のトシを聞き哑然とする。彼らが生まれる前からプレーをしていなんて。

早慶戦も38回目、もう何回試合をしているのだろうか。

家族旅行で1回欠場。生涯連続出場を断念。早慶のOBの皆さんのなかには私と同じような気持ちで、この定期戦を楽しみにしている人も多かろうと思う。

今でもきのうのこのように思い出す。

全員の声援の中で、体中の汗をふりしぼり夢中になって、羽を追いかけたっけ。試合の方は、いつも慶大の二桁勝利。試合後のレセプションで励ましと、ヒヤカシともつかない慶大OBの挨拶、くやしかったこと。ヨシ、来年こそはと一年精進して又、おなじことの繰り返し。なんど無念の涙をながしたとか。現役最後の早慶戦7対8。負けはしたが…。青春の一ページを、いまでも昨日の事のように思い出す。昔を懐かしみ、若いものにまけないぞとムリをしている自分、ふと我に帰ると、やっぱり年なんだろうな… ほんとはゲームの後の一杯のビールを楽しんでくせに。

でも、もしかして、あのせいしゅんが日吉のコートに落ちていたかもしれないな。

よし、今年もがんばるぞ。

早慶戦に寄せて

早稲田大学 昭和55年卒 石黒知栄子(旧姓 赤松)

自分では、大学を卒業したのがついこの間のような気がしていましたが、考えてみれば、卒業してから今年でちょうど10年になります。

学生時代を振り返ると、バドミントン部に入るのが1年の12月。当時は、女子の部員不足で先輩方も苦労されていたようでした。レギュラーの座を争うどころではなく、団体戦に必要な人数がそのまま部員の数であり、初心者も含めて、一人一人がとにかく自分の持っている力で必死に戦わなければならぬという状態でした。

慶応とは、定期戦以外にも春秋のリーグ戦(2部)で顔を合わせていましたから、お互いに手の内を知り合った仲ではありましたが、やはり定期戦の意味は大きく、先輩方の意気込みや、OBの方々の期待の大きさがひしひしと感じられました。

今思うと、自分が上級生、特に4年生になった時、この大事な定期戦で責任を果たせなかつたことは悔やまれてなりません。

どうか、早稲田の、そして慶応の選手の皆さん、母校の名誉をかけて精一杯戦って下さい。闘志をぶつけ合って完全燃焼した試合は、よい思い出になると同時に、早慶両校の心の交流も深めてくれると思います。

慶応のバドミントン部出身の方に会うと、どこか「身内」のような親しみを感じてしまうのも、両校のこの特別な関係からくるものと思っております。

慶 早 戦 に 寄 せ て

慶応義塾大学文学部 昭和35年卒 野 島 義

第38回早慶バドミントン定期戦開催おめでとうございます。

昨年は11連敗後の久々の優勝に我々慶応側は現役もOBもやっと思つて連敗にピリオドを打ち歓迎するよりもホッとされたのが実感でした。

小生、現役の時は目黒のドレメ体育館での慶早戦が常であり、開催前の準備にはかなり苦労した事を思い出します。

現在は両校の体育館で交互（原則的に）に開催され、両校の応援団によるエール交換も行われ、当時としてはとても考えられないことです。今年も残暑の折、開催される季節がやってきました。昨年とは前述の如く11連敗後の勝利でホッとした感じでしたが、本年も勝利し、本当に勝利の歡喜に酔いたいものです。現役諸君の春期リーグ戦敗戦の悔しさを撥除ける熱戦勝利を期待したい。OB戦にも参加し、自分自身も勝利したいと思います。両校のOB、OGの方々にお会いすることも楽しみにしています。

両校全出場者の御健闘をお祈り致します。

慶 早 戦 に よ せ て

慶応義塾大学文学部 昭和54年卒 森 下 一 夫

第38回早慶バドミントン定期戦の開催を心よりお慶び申し上げます。まず何よりも、先輩諸兄、現役諸君と今年もまた、伝統ある早慶戦を迎えられることに、誇りと慶びを感じずにはられません。

私自身は、昨年6月より、シドニー勤務を命じられ、昨年に続き今年も参加できずに、非常に残念ですが、過去の数々の熱戦を思い浮かべ、心より声援を送る次第です。

早いもので、私が卒業後、11年があっという間に過ぎてしまいました。仲間と切磋琢磨しあい、ライバルと競い合ったあの4年間はかけがえのない、最も充実した時だったと感じています。負けた時のくやしさを、勝った時のうれしさを、そして勝つために積み重ねた努力が、今の自分を支えていると確信しています。

最後になりましたが、早慶両バドミントン部の今後益々のご発展と、そして早慶の学生がより大きな夢と目標をもち、日本のバドミントン界をリードしていく時代がくることを、心より祈念いたします。

早慶戦に寄せて

早稲田大学教育学部 平成元年卒 佐藤輝行

第38回早慶バドミントン定期戦、開催おめでとうございます。今年も早慶両校の現役諸君達による、熱き戦いがくり広げられることと思います。

さて、早慶戦というと私自身は、4年間全勝させていただきましたが、新人賞、敢闘賞、最優秀選手賞の3賞を一度も取ることが出来ずに終わり、何か縁がなかったなという気がします。そして、その事を特に感じたのは、主将として臨んだ昨年の早慶戦です。早稲田の方は、下級生の力不足が響き、私を含めた4年生が一人も負けられない状況に追い込まれ、勝つには8-7しかなかった。慶応は加藤、清水、土屋、高田、早稲田は村井、中村、石川、そして私と勝取は4年生同士の対決に持ち込まれた。互いに死力を尽くしたゲームが展開されたが、わずかに慶応諸君の勝利への執念が上回り、結局5-10という思わぬ大敗となったのであった。早稲田の12連勝は成らず、運のなさと言うか、縁のなさを感じた試合であった。

あれから一年経った今年、早稲田の現役諸君には是非とも昨年の雪辱を果たしてもらいたい。OBとして、陰ながら応援します。

BADMINTON SHOP
KOJIMA

たまには
遊びにいよ!



横浜市西区南幸2丁目7番地3 小安ビル6F
TEL (045) 312-1800

慶 早 戦 に 寄 せ て

慶応義塾大学経済学部 平成2年卒 加藤正裕

早いもので、私が社会人の仲間入りをして半年が経ち、早慶戦の時期がやってきました。早慶戦には言葉で表現することが出来ない独特の雰囲気と魅力があると思います。

それゆえ、必ずや早稲田に勝ちたいのです。思い返せば、上級生になるにしたがい、特に最上級生の時には“何がなんでも絶対に勝つ”との思いでいっぱいになっておりました。“早慶戦勝利”を年間の第一目標に掲げ、早稲田の連勝を阻止し、勝利の美酒を味わいたいと思っておりました。慶応が勝つためには、練習により自信を培い、皆が一つの目標に向かっていく心を持つことだと思い、日々の練習に励んでおりました。

昨年は、幸いにも勝利をつかみとることができましたが、そこには、清水監督をはじめとする諸先輩方の温かい御尽力と、下級生の頑張りがあったと思います。また、同期の協力がなければ、もちろん、成し得なかったことでしょう。早慶戦で勝てたことは、私のバドミントン生活の中で、最高の思い出であり、勝利の瞬間は、今でも脳裏に鮮明に焼きついております。今年も諏訪主将のもとで現役諸君には、日頃の練習の成果を十二分に発揮して頂き、是非、日々の練習を送っている日吉の丘、記念館において連勝することを願っております。そして、また皆で“丘の上”を歌おうではありませんか。

祝 早慶バドミントン定期戦

記念品・催物・販売促進等の機会に、オリジナル デザインの
スカーフ・ハンカチーフ・エプロンなどを企画ございませんか！

株式会社 荻原 かき 千231 横浜市中区太田町1-9 TEL.(045)651-1406(代)

OGIWARA & CO., LTD.

主将抱負

早稲田大学バドミントン部主将 森田康嗣

いよいよこの早慶バドミントン定期戦を開催することとなりました。昨年の無念を晴らすべく部員一同闘志を燃やしてまいります。

本年で38回目を迎える歴史ある大会に、部員の一人として出場できることに至上の名誉を感じております。

さて、春季リーグ戦の結果ではありますが、男子は2部3位、女子は1部4位でした。女子は又一つランクを上げるという好成績でしたが、それに対し男子は、一部復帰を目指したものの結果は史上最低となり、主将として責任を痛感いたしました。

近年、慶応・早稲田共に、部員数が減少し、まずは部員獲得こそが重大な問題です。すぐりし精鋭“早稲田”は、全部員がレギュラーですので、決して部内競争が激しいとは言えませんが、雪辱を果たすべく部員一丸となって今夏の猛練習を乗り越えてまいります。

上級生の層が薄い早稲田としては、下級生の活躍が重要なカギとなるでしょうが、総力戦は必要です。

この早慶戦において勝利を収め、はずみをつけ、秋季リーグ戦では何としても二部優勝を果たし、一部へ昇格したいと思っております。

慶応の諸君、お互いに全力を出し切り、悔いのないプレーをしよう。しかし、“理想の王座を占むる者我等 早稲田”なのだ。

祝 第38回早慶バドミントン定期戦

ライス(米)はササニシキ90%
おすすめ品=チヨコとん

とんかつ フクちゃん

☎(203)3419

主将抱負

慶応義塾体育会バドミントン部主将 諏訪隆博

第38回慶早バドミントン定期戦を迎えるにあたり、数多くの諸先輩方の大いなる努力の結晶としての輝かしい伝統の重みを改めて強く感じております。そして、我が義塾部員一同は、このような最高の場で本塾の名のもとにプレーできることを誇りに思うと同時に、その名に恥じないよう勝利を目指して、全力で、宿敵早稲田に向かうことを誓います。

「不断の努力」、まさに、言うに易く行うに難き言葉であります。この言葉こそ、塾体育会にふさわしい言葉であります。学生スポーツの王道を邁進する塾体育会の勝利こそ真に意義のあるものであり、そのためには、自分の全てを賭けた「不断の努力」による練習をもって敵を凌駕する以外に道はないのです。塾の勝利の意義は、スマートな才能ではなく、豊富な練習量に裏つけられた不屈の闘志なのです。

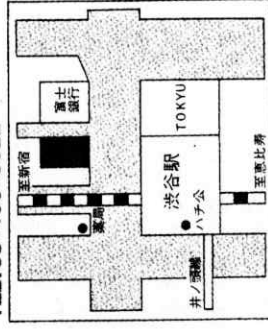
勝つために何が最も大切か。それは、バドミントンに対する姿勢であり、また倒れそうになる自分を奮い立たせ、くじけそうになる自分に克つための熱いハートではないでしょうか。この熱いハートをもって乗り越えてきた練習の成果を部員一丸となつてこの慶早定期戦に、必ずやぶつけてみせます。

平成の幕開けと共に、慶応義塾も再び輝かしい歴史の一步を踏みだしました。すなわち、本年は、この歴史の礎となるべく、必ずや早稲田を倒し、二連覇を達成してみせます。早慶が互いに最高の好敵手である限り、塾体育会の最大の榮譽は、早稲田を倒すことです。今年もこの榮譽を勝ち取り、最高の祝杯をあげてみせます。

最後に、早稲田の諸君、お互いに素晴らしいプレーを繰り広げようではありませんか。

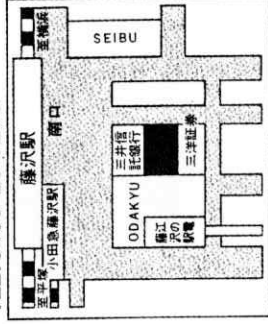
バドミントンプロシヨップ ウェンブー

渋谷店
バドミントンプロシヨップ
TEL:03-409-6622



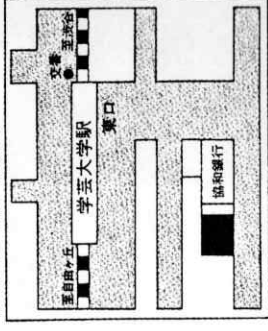
渋谷区渋谷1-25-6
A.M.10:00-P.M.8:00
(日曜、祭日はP.M.7:00まで)
第1、3月曜日定休(祝祭日は営業)

藤沢店
バドミントン&デニスシヨップ
TEL:0466-26-7272



藤沢市南藤沢21-6サンアラザ藤沢ビル7F
A.M.10:00-P.M.8:00
(日曜、祭日はP.M.7:00まで)
月曜日定休(祝祭日は翌日)

学芸大学店
バドミントン&デニスシヨップ
TEL:03-716-2626



目黒区鷹番3-3-4
A.M.10:00-P.M.8:00
日曜日定休



主将

森田康嗣

商4 大村

最後の早慶戦を前に「主将戦に負けたらハンチバームになる。」と宣言。男に二言はありません。



女子主将

菅野純世

教4 八王子東

故障を押ししながらの活躍は見事。最近めつきり才シヤレになり、やることはちやんとやっている。



主務

斎藤晶子

人科3 山形西

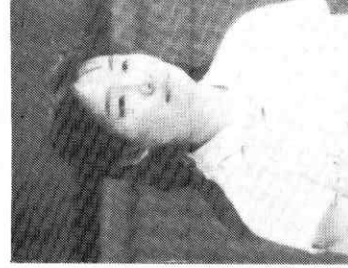
御存知早稲田の人間核弾頭。非核三原則もフツ飛ばし今年も大暴れは確実。レクリエーションの鬼。



福沢千素

教4 小倉

コツコツと練習に取り組み確実に成長してきた。部内事情通が故に女梨本と呼ばれる。



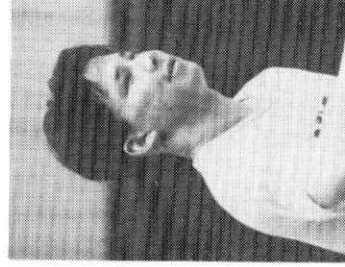


副将

岩佐延寿

人科3 日川

トドの愛称もすっかり定着したが実は小心者のラッコである。ただし全然かわいくないが。



副務

木戸 哲

法3 横浜平沼

最近人が変わったという大評判。本人はまるで自覚がないが、理由はみんな知っているらしい。



金子実穂

人科3 小平南

なにがなんでも自分のベースを崩さない。ワガママだが意外に家庭的な面もあるオヤジギャル。



金田恭子

二文3 希望ヶ丘

前期は故障で思わぬ不調に終わった。プレーの幅を広げるべく「張手」を研究中。



宮沢素子

商3 八王子東

ネット前鬼攻撃を武器にダブルスプレーヤーとして成長した。課題はいつでもどこでも鬼になること。



井口達夫

理工2 江北

「えっ？、」と言いながら右往左往し大汗をかく、そんな彼を人は「イグー」と呼ぶ。



池田正博

人科2 早実

中学時代の話になると急にモジモジしなくなる。過去は忘れて大学での活躍を期待したい。



藤本謙治

人科2 札幌第一

2年になり自覚があるのやらないのやら。すっかや変な奴になった。座右の銘は「おい佐藤」



本間政徳

商2 新潟

弱蔵はいつまでたっても弱蔵。プライドを傷つけられて名付け親をかなり恨んでいるようだ。



児玉文人

商1 向陽

一見、面構えは大物だが実はかわいいコイサンマン。趣味は昆虫採集とデザート作り。



佐藤嘉伸

人科1 札幌第一

特選とは思えぬ真面目な男。これが本来の彼の姿であってほしいと思いたいが無理な話である。



本沢孝博

社1 市立千葉

入部後すっかりスリムになった。プレーに波がありすぎるのが欠点。「おこっちゃいけねえー」



渡辺英次

人科1 生田

ツポにはまった時のパワ―は特選もギヤパン。対照的なかわいいサーブと妙な声は作戦か？



小池裕子

社1 九州女子

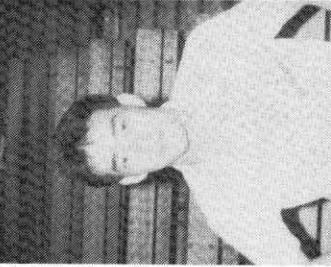
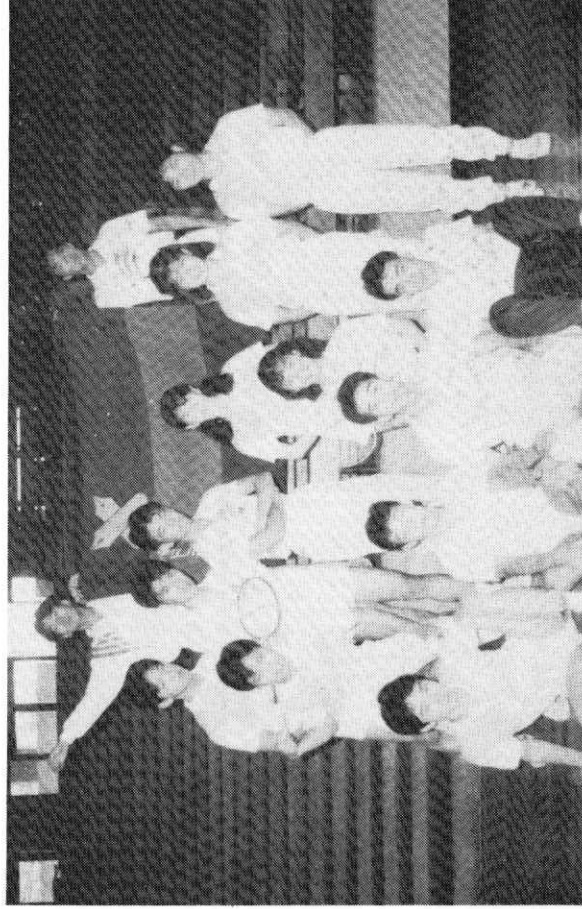
期待の大型新人。一見大人しそうだが実はとんでもない。物おじしない性格は史上類をみない。



林 恵理

商1 大教大池田

我が部のイメージを一新するような彼女。豊富な練習量で歌と踊りは誰にも負けない。



主将
譚訪隆博

政4 勝山

安定感に加え迫力のある
プレーはNo.1。下宿なの
に手料理という内助の功
も見逃せない。



副将
井端 隆

政4 慶応

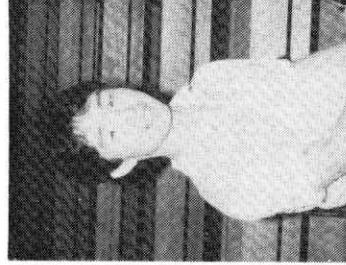
粘り強く、ハイバックと
カットで相手を欺く。女
子には優しい。



小野寺康秀

商4 西

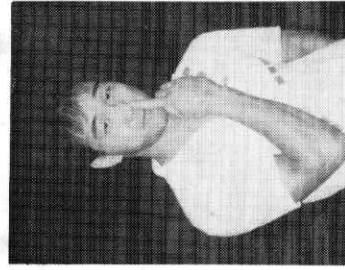
体力を生かした、粘りあ
るプレーをする。目つき
は怖い。女子校コーチで
ある。



副務
大束陽介

経3 桐朋

スマッシュを中心とした
激しいプレーをする。プ
レーにも仕事にも几帳面
さが欠ける。



松井隆志

経3 慶応

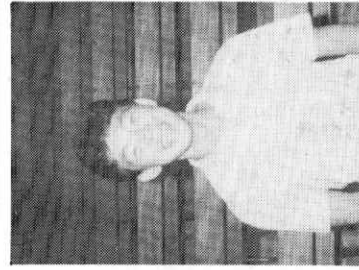
スピードあるプレーが持ち味の彼も、サーブは見る者をうならす。時々、奇癖がでる。



角田敏洋

理工3 東海

ショットの切れは鋭いが調子に波がある。普段はタンポポカフクライにいる。



茂木一秀

理工3 中央大附属

愛の煮つまったお父さんのプレーをだれが止められよう。



小沢さち子

経3 慶応女子

走る姿は幼稚園児のようでも、その実力はフロロ女王。



鈴木紀子

経3 慶応女子

遠く山奥から毎日練習に通う根性は並み大抵ではない。単複に期待がかか



酒井香世子

法3 慶応女子

愛を力にパワフルなショットに磨きかけた。築地でよく見かける。



奥出裕充

文2 保谷

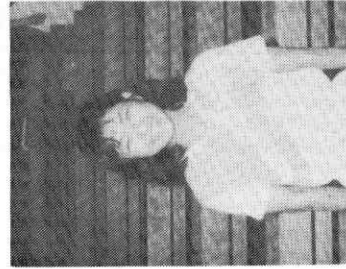
なよっとしなくなり、パワーアップしている。飲み会ではよく人にからむ。



緒方喜子

経2 慶応女子

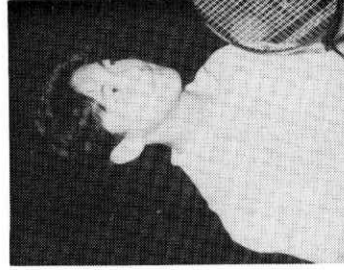
ダブルスにおいて、成長の跡を見せている。試合中、足をいっぱい叩く。カラオケがうまい。



寺島智美

法2 慶応女子

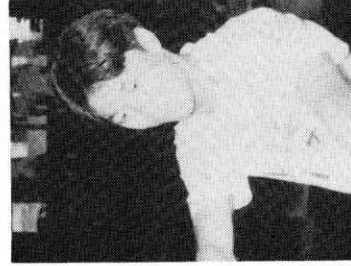
紀子様のような笑いをみせるが、ひょうひょうと基礎研でトレーニングをこなす。



五十嵐誠一

文1 佐倉

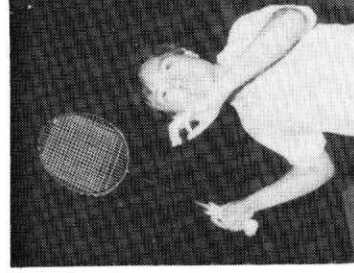
モットーは仁義、目標は前田と町田、実際は島袋くん。研究熱心でスマッシュは速くなった。



池田淳一郎

文1 慶応

美らぬ恋に悩む彼も、愛車はアウディーのお坊ちゃん。江戸商人的な笑い方は禁物だ。



川南浩之

経1 慶応

本塾期待の新人。まだ子どもなので、これからじっくり育てたい、カリメロくん。女に弱い。



巽 弘樹

経1 慶応

バドミントンに対する熱意はかえる。あとはどれだけ自分に厳しくなるかうエンプレーの店員。



安達憲瑞

法1 山形東

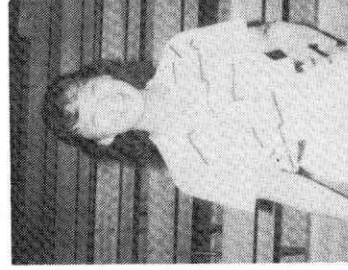
本塾期待の新人のひとりである。彼の課題はいかにテイクを克服するか。シヤイなにいちやん。



柳 正博

環境1 聖光学院

独特なシヨットを持つ貴重なサウスポー。期待は大さいが、なにぶん馬ゆえ、固さが難点。



田中幸子

経1 慶応女子

女子で唯一の一年生である。シヨットに力があるが、体力の向上が望まれる。注射が苦手。

